



新設したフリーストール牛舎

経営概要

- ◆代表者、所在地
清水一将、愛知県刈谷市
- ◆設立年
昭和35年(法人化令和3年2月)
- ◆経営規模
酪農業 搾乳牛約150頭
- ◆従業員数
役員3名、正社員4名、ヘルパー2名
- ◆事業内容
搾乳牛を飼養し、生乳を乳業メーカーへの販売の取り組み。

1 現状及び相談内容

昭和35年より農業経営を開始し、刈谷市で唯一の酪農家である。令和2年に畜産クラスター事業を活用して牛舎の新設（フリーストール牛舎）とmilkingパーラーを整備し、規模拡大を計画している。法人化の意向があるものの、法人化するタイミングが重要であると考え、**法人化する時期と併せ事業継承**についても令和2年10月に相談があった。

2 支援内容

中小企業診断士による**経営診断**や、税理士、社会保険労務士による**法人化のメリット・デメリット、事業継承の方法、法人化後の労務管理に関する助言**を実施した。

3 人材の確保・育成に資する取組

★フリーストール牛舎を導入することで動物と従業員にやさしい環境を実現することで生産性の向上を図るとともに、チームミーティングを通じた従業員の育成を実施

■生産性向上と安全な職場環境の整備

令和4年6月に**フリーストール牛舎とmilkingパーラーが完成**し、牛にとって快適な住環境を整備することができ、乳質が向上した。また、従業員にとっても作業効率が上がり、**働きやすい環境を整備**することができた。

■酪農教育ファームの実践

「酪農を通して食や仕事、いのちの学びを支援する」ことを目的に**酪農教育ファームの認証**受けており、**小学生の見学や作業体験、研修の受け入れ**を行っている。令和4年度は刈谷市内小学校他、合わせて1,500人以上が勉強に訪れた。**農作業体験をした非農家出身の生徒が、職業としての農業を選択するきっかけ**となったり、**農業の次代を担う後継者育成が期待**できる。

■ミーティングによる意識改革

チームミーティングによって、従業員とのコミュニケーションの機会を創出した。その中で**経営状況、乳質データ**が見える化し、共有することにより**従業員の意識改革が進み、成長につながった**。また、**飼養管理技術の講習会**を実施し、**技術の向上**を図った。



見学している小学生の様子

今後の意気込み

地域とつながり貢献する酪農へ

専属スタッフ所感

スピーディーに法人化と事業承継が進んだ好事例である。酪農の経営環境は大変厳しい中であるが、今後の経営発展を大いに期待したい。